

ふれあい

医療法人ガラシア会
介護老人保健施設
ニューライフガラシア
広報委員会

2024年2月発行
TEL 072-729-2346
FAX 072-729-7951

新年のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年は、元旦の能登半島地震、2日の羽田空港の事故と異様な幕開けとなりました。亡くなられた方々のご冥福を祈ると共に、被災地においては、未だに不自由な避難生活を強いられている方々が、一日も早く平穏な日常生活を取り戻されることを、心より願うばかりです。

一方、世界に目を転じれば、出口の見えないロシアとウクライナの戦争に加えて、イスラエルとパレスチナの戦闘が勃発し、平和な世の中とは程遠い情勢となっています。戦争はどう言い訳しようとも、「悪」であり、反戦・非戦を訴えていかなければならないのは当然ですが、長年のパレスチナ問題に象徴されるように、戦争さえなければ平和があるという訳ではありません。世界には、表立った戦争はなくとも、いくつかの地域で、差別・貧困・人権侵害にあえぎ、平和的生存権が侵されている人々は多数存在しており、その事実にも目を向けなければいけないと思います。

国内においては、相変わらず、耳触りの良い政策の名の下に、利権に群がり、税金をいかに分捕るかということに汲々としている政治家ばかりが横行し、政治の劣化には目を覆うばかりです。いたずらに戦争の危機をあおり、防衛費の大幅な増額を唱える人達に対しては、軍備の増強が真の平和をもたらすのだろうか、さらに言えば、少子化、貧困化、高齢化という多くの課題をかかえている中で、税金の使い道がちっと違うのではないかと声を上げてください。以上、新年早々誠に恐縮ですが、今の憂うる世情について、若干の私見を述べさせていただきました。

さて、当老健施設においては、昨年「コロナ禍」が次のフェーズに移ったものの、未だに施設内の感染予防に、利用者、職員共々、精神的にも肉体的にも大きな犠牲を強いられています。また、ひとたび感染が発生すれば、皆が疲労困憊するという状況を繰り返しています。そのような心配なしに、高齢者一人一人が人生の最終段階をその人らしく楽しく過ごし、安らかな最期を迎えられるように、様々な取り組みが自由にできる世の中に一日も早くなればと願うばかりです。利用者やその家族の皆様、そして地域の皆様が平穏に過ごされますように、職員一同、精一杯努力してまいります。

本年もどうかよろしくお願いいたします。

施設長 阿曾沼 克弘



おねがい



入所のご利用者様、ご家族様には、長い間ご心配とご迷惑をおかけしております。今後一層の感染症対策に努めてまいります。コロナウィルスだけではなく、インフルエンザやノロウィルスの猛威がまだまだ続いています。デイケアの利用者様、ご家族様、ご面会来られる方で、喉の違和感や倦怠感など、体調がすぐれない時は、ご利用、ご面会をお控えください。

迎春



シリーズ

最期を迎える方を支える
スピリチュアルケアの観点より（最終回）

医療法人ガラシア会
チャプレン

松本信愛



今回は、加齢とともに細胞が老化し身体のあるゆる機能が衰えるので、歩くのが遅くなった高齢者に「歩調を合わせて」ゆっくりと一緒に歩くように、脳活動が鈍くなった高齢者にも「歩調を合わせる」必要があると言いました。

衰えた脳活動に歩調を合わせるためには、どれくらいのスピードがよいのかを知る必要があります。こちらは目に見えないので、まず、なぜそのようなスピードになっているのかを理解する所から始めます。

まず、前提として、記憶力や判断力が衰えても、まだ「理性」はかなり働いていると考えるべきです。「日本語」が話している限り、理性はまだかなり働いている証拠です。ですから私たちの言動で自尊心を傷つける可能性が大きいと考えて注意すべきです。

- ・同じ話を繰り返す…前に話したことが記憶されていないのだから当然。
 - ・約束が守れない…約束したことが記憶されていないのだから当然。
 - ・徘徊…本人は目的があるので徘徊のつもりではない。止められると怒るのは当然。（「会社へ行く？」「買い物に行く？」）（途中で道や目的がわからなくなるので徘徊扱いされる。）
 - ・実子の顔もわからなくなる…最近の記憶が消えて、子供は小学生とと思っているので、目の前のおばさん、おじさんは誰だと思っは当然。
- 高齢になって、早く走れないのが当然だから、歩調を合わせてゆっくり歩くように、これらの「当然」に合わせて話を合わせる事が求められるのではないのでしょうか。
- 高齢者が、これらの当然なことを無視されるとすれば、それは、体力や脚力が衰えて当然な高齢者に「普通に歩くように」求めていることにならないのでしょうか。

百寿さん！
いらっしゃい！

玉田 ちよの 様



被昇天学園中・高の受付で
勤めていたころの玉田様

ご家族様よい♡

昔から料理やお菓子作りの好きなおばあちゃん。
100歳を越えても、パウンドケーキを作って、よく
届けてくれましたね。いつまでもお元気で。

<子供・孫一同>

→18歳頃の玉田様、左は妹様
このころは台湾にいました。
←パン取り競争に参加する玉田様



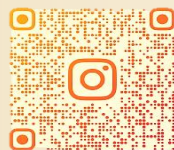
スタッフよい♡

今年で103歳になられました玉田様、フロアレクリエーションもいつも楽しそうに参加されています。これからも楽しんで過ごせるように我々スタッフも頑張ります！



Youtube

レクリエーションの様子や活動を
動画にて配信しています！☺



Instagram

季節に合わせたお知らせや日々の
生活の様子を載せています！☺